

さがみはらサイクルフェスティバル ～Road to Tokyo 2020～  
の開催結果について

2020年東京オリンピック競技大会(以下「大会」といいます。)における自転車ロードレース競技の実施に向けた機運醸成のほか、大会後のレガシー創出に向けた取組として次のとおり「さがみはらサイクルフェスティバル」を開催しましたので、お知らせします。

当日は、同フェスティバルのほか、隣接する会場で開催された「支えあおう！さがみはらフェスタ2019」(以下「さがみはらフェスタ」といいます。)に御来場の多くの皆様にもに観戦いただきました。

(開催概要)

|       |   |
|-------|---|
| 名 称   | さがみはらサイクルフェスティバル ～ Road to Tokyo 2020 ～ |
| 主 催   | 相模原サイクルイベント実行委員会(以下「実行委員会」といいます。)       |
| 共 催   | 相模原市、相模原市教育委員会                          |
| 協 賛   | 相模原橋本ロータリークラブ                           |
| 開 催 日 | 2019年11月17日(日)<br>さがみはらフェスタと同時開催。       |
| 場 所   | 相模総合補給廠共同使用区域及び周辺道路                     |

1 レースの開催

(1) 第9回Y's Roadサイクルエンデュロ

初心者も参加可能な一般参加者によるチーム制3時間耐久レースとして、約3kmの周回コースをチーム内で選手が交替して走行し、周回数を競いました。

(株)ワイ・インターナショナルにより運営。

|      |                     |
|------|---------------------|
| 参加条件 | 中学生以上(2名～6名のチームで参加) |
| 参加者数 | 294チーム(809名)        |

(2) JBCFエキシビジョンレース(プロ選手による)

JBCF(全日本実業団自転車競技連盟)主催の国内最高峰の自転車競技リーグ「Jプロツアー」出場選手によるエキシビジョンレースとして、さがみは

らフェスタのメインステージ前から全選手が一斉スタートし、約1.5kmのコースを25周して着順を競いました。

成績上位者等には、同連盟の片山右京理事長から表彰状が、実行委員会から賞品(本市の特産品)が贈呈されました。

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p>出場チーム<br/>(9チーム37名)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マトリックスパワータグ(大阪府) 4名</li> <li>・TEAM BRIDGESTONE Cycling(静岡県) 5名</li> <li>・宇都宮ブリッツェン(栃木県) 3名</li> <li>・シマノレーシング(大阪府) 4名</li> <li>・イナーメ信濃山形(長野県) 4名</li> <li>・Team UKYO(神奈川県) 4名</li> <li>・FIETS GROEN 日本ロボティクス(東京都) 5名</li> <li>・那須ブラーゼン(栃木県) 4名</li> <li>・なるしまフレンドレーシングチーム(東京都) 4名</li> </ul> |
| <p>成績上位者等</p>              | <p>1位 Team UKYO 畑中勇介 選手</p> <p>2位 宇都宮ブリッツェン 小野寺玲 選手</p> <p>3位 TEAM BRIDGESTONE Cycling 黒枝土揮 選手</p> <p>10周賞( ) イナーメ信濃山形 小山智也 選手</p> <p>20周賞( ) シマノレーシング 黒枝咲哉 選手</p> <p>10周又は20周を走行した時点で順位が1位の選手に贈呈されました。</p>  |

## 2 自転車の安全利用の啓発等

多くの人を訪れる機会を捉え、自転車交通安全教室、e-BIKE(電動アシスト自転車)の試乗会等を実施しました。

## 3 義援金の受付

会場(相模総合補給廠共同使用区域内)において、台風第19号に伴う被災の状況を紹介するパネルを展示したほか、義援金箱を設置し、被災された市民の皆様へ届けるための義援金を受け付けました。

問合せ先  
2020東京五輪・さがみはら  
プロジェクト推進本部事務局  
リノベーション推進課  
電話 042-851-3248